

都市再生整備計画（中里・金田地区）事後評価の概要

（１）計画概要

- 【地区名】中里・金田地区
- 【面積】232ヘクタール
- 【交付期間】平成19年度～平成23年度
- 【交付対象事業費】約15億円（国費率40.3%）
- 【区域】中里町・金田町・上田町・松田新田町の各一部

（２）まちづくりの目標

【大目標】

住みやすく暮らしやすい生活都市の形成

【小目標】

- ・高い利便性と周辺環境と調和した魅力的な居住地づくり
- ・充実した公共サービス利用等を促す効率的な街なかネットワークづくり
- ・安全安心の歩行環境づくり

（３）目標の達成状況

指標	単位	従前値	目標値	事後評価	備考
①用途地域の人口	人	2,967 (H18)	3,200 (H23)	3,352 (H23)	魅力的な居住地が形成されたことで用途地域の人口が増加している
②公共施設の利用者数	人/年	125,738 (H16)	130,000 (H23)	108,500 (H22)	市町合併に伴う料金改定の影響などから一時的に減少したが、現在は増加傾向にある
③歩行環境の満足度	%	9.5 (H18)	20.0 (H23)	35.2 (H23)	満足度が向上している
④公共施設及び学校開放施設の利用者数	人/年	149,713 (H16)	-	156,611 (H22)	人口増加や道路整備によるアクセス性の向上等により、利用者数が増加している
その他	中里原地区においては、景観形成推進地区に指定されるなど、「新しい街」と「自然」が共存した住環境を創出し、緑豊かな、ゆとりと潤いのある景観形成を推進している。				

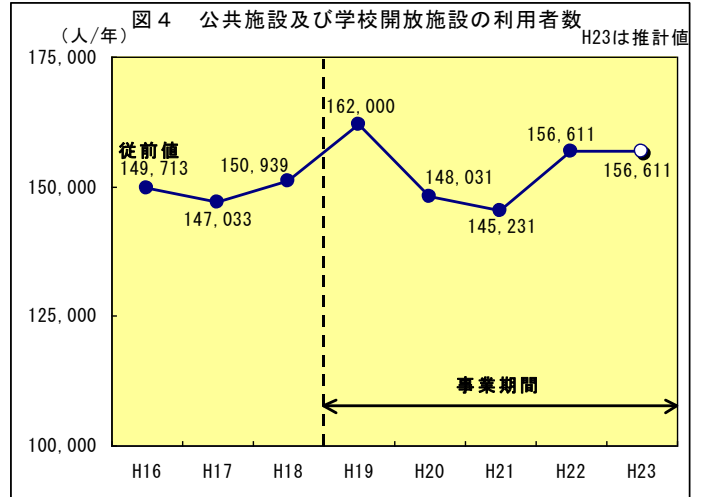
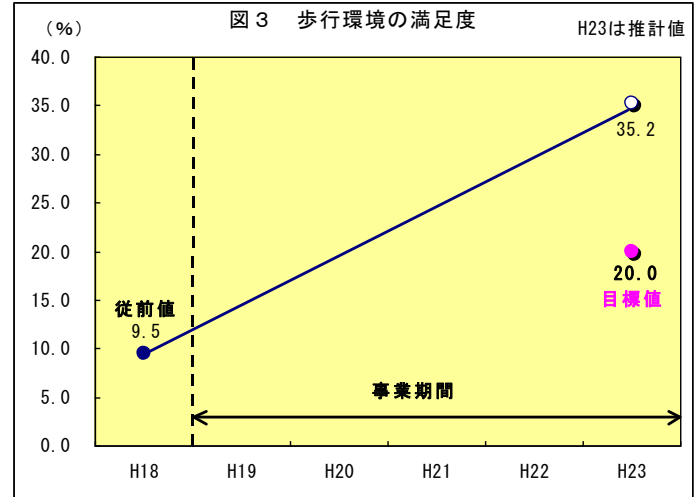
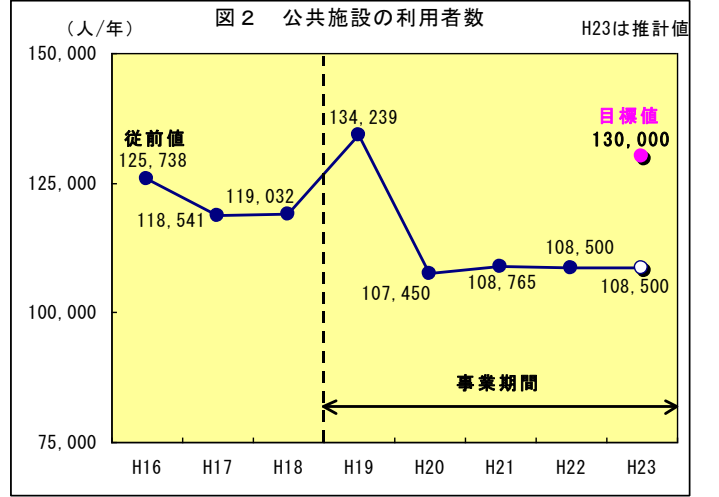
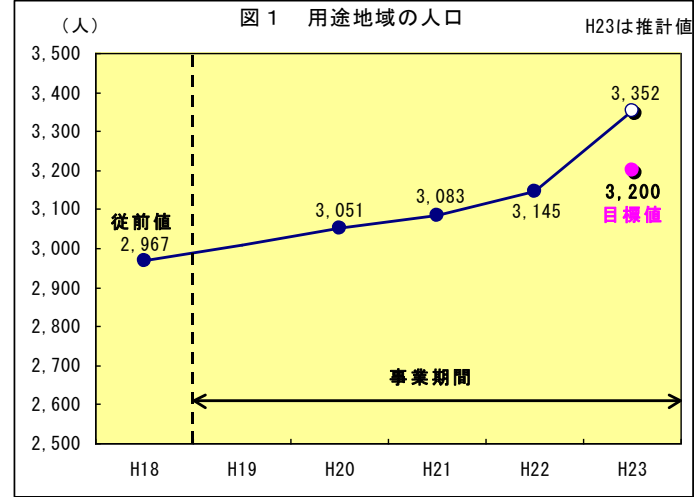
注）④は、当初設定した数値目標以外の指標（参考値）

（４）実施課程の評価

【モニタリング】実施なし

【住民参加プロセス】地元自治会と協働によるワークショップの開催

【持続的なまちづくり体制の構築】公園愛護会設置に向けた継続的な働きかけを行う



（５）まちの課題の変化

- 中里原地区が「景観形成推進地区」に指定されるなど、自然環境と日常生活が調和した良好な住宅地が創出され、人口定着が図られている。
- 市道13381号等の道路整備や中里原交差点改良事業により、効率的な市街地ネットワークの形成が図られている。
- 本事業における道路や公園等の公共施設整備により、防災性・安全性の向上が図られた。

（６）今後のまちづくり方策

まちの課題	まちづくり方策
住民間の交流の促進	地区内には新たな住民や幅広い年齢層の住民が居住していることから、自治会への加入促進等により住民同士の交流の機会を促進する。
自然環境と日常生活が調和した居住環境の形成	中里原地区において、緑豊かな街並みの形成をさらに誘導・推進し、「景観形成推進地区」にふさわしいまちづくりを進める。
歩行環境の更なる向上	通行者の安全性をさらに高めるため、必要に応じ、交通安全施設等を補完していく。